

計画や施策審議会に対する意見

No	該当ページ	該当箇所	意見内容	意見に対する回答	会議
<b>第4次新潟市障がい者計画</b>					
1	2	第1部総論 3基本理念及び基本目標 【基本理念】	障害者基本法の目的にもあるように、「障がいの有無によって分け隔てられることなく」という表現に修正してはどうか。	「障がいの有無によって分け隔てられることなく」に修正しました。	第1回 施策審議会
2	2	第1部総論 3基本理念及び基本目標 【基本理念】	【説明文】 将来的に経済的支援には限界があるため、今後は障がい者に対する社会全体の理解を深めることが必要ではないかと思うので、その点について加筆してはどうか。	【説明文】 障がい者に対する社会全体の理解を深めていくことの重要性について追加しました。	第2回 社会福祉審議会 分科会
3	20	第2部各論 1地域生活の支援 (1) 相談支援体制の充実	【現状と課題・施策の方向性】 ペアレントメンターやペアレントトレーニングの内容について、内容を加筆してはどうか。	【現状と課題・施策の方向性】 「相談支援体制の充実」の項目には、専門的な相談支援体制を記載していることから、保護者支援の項目で掲載し、ペアレントメンター派遣事業については、引き続き取り組んでいきます。 <保護者支援の項目> 33ページ「3療育・教育の充実(1)就学前療育の充実○施策の方向性2段目」	第2回 施策審議会
4	20	第2部各論 1地域生活の支援 (1) 相談支援体制の充実	【現状と課題・施策の方向性】 基幹相談支援センターの仕事量や連携体制、役割分担等について、加筆してはどうか。	【施策の方向性】 基幹相談支援センターの役割や連携体制について明確化した内容へ修正しました。	第2回 施策審議会
5	25	第2部各論 1 地域生活の支援 (5) 地域生活を支える人づくり	【現状と課題・施策の方向性】 現状と課題に対して、施策の方向性に、コミュニティ作りやつながりを育む施策が見当たらないため、施策の方向性の各政策が課題とどのように結びつくのか、説明を追加する必要があるのではないか。もしくは、新たに施策の方向性で課題に対する政策を追加する必要があるのではないか。	【施策の方向性】 精神障がいにも対応した地域包括ケアの構築のために協議の場を設置し、当事者や当事者団体との関係性の構築や地域づくりに向けた協議を実施する内容へ修正しました。	第2回 施策審議会
6	26	第2部各論 1 地域生活の支援 (6) スポーツ・文化活動の振興および余暇活動の支援	【現状と課題】 「Society5.0」という言葉は広く一般に知られている言葉ではないと思うので、分かりやすい表現に修正してはどうか。	【現状と課題】 分かりやすい表現に修正しました。	第2回 施策審議会
7	27	第2部各論 1 地域生活の支援 (7) 情報提供・意思疎通支援の充実	【施策の方向性】 障がいの個人(医学)モデルに基づく捉え方であり、社会モデルの捉え方に転換していく必要があると思います。障がいがあるのか、「障がい者」とされている人にあるのか、多様な身体のある在り方の人の自立や社会参加を困難にしている(阻んでいる)排他的な社会の在り方に問題があるのか等について、障害者権利条約や障害者基本法の基本理念に基づき、表現を改めてはどうか。	【施策の方向性】 個人・医学モデルの捉え方から社会モデルに基づく考え方へ表現を修正しました。	第2回 施策審議会

No	該当ページ	該当箇所	意見内容	意見に対する回答	会議
8	29	第2部各論 2保健・医療・福祉の充実 (1) 障がいの予防と早期の気づき・早期の支援	【施策の方向性】 「こころん」の役割について、地域の保育園等でも集団参加において社会性の課題を抱える子への専門的な療育を保育所等訪問支援事業で実施し、支援体制の充実を図るといった内容としてはどうか。	【施策の方向性】 「こころん」の役割について、巡回支援専門員の派遣や、必要に応じて各種サービスの利用につなげるなど、切れ目のない支援体制に関する内容に修正しました。	第2回 施策審議会
9	30	第2部各論 2 保健・医療・福祉の充実 (2) 医療の支援	【現状と課題・施策の方向性】 リハビリテーションに関する記述が計画内に見当たりませんが、視覚障がい者の自立支援、生活訓練等のリハビリテーションは、現状では不十分であり、その拡充、推進を項目として起こすべきではと考えます。(視覚障がい者に限らず)	【現状と課題・施策の方向性】 「(2) 医療の支援」の項目を「(2) 医療・リハビリテーションの支援」に修正し、身体機能の維持向上や日常生活の質の向上等に関する内容を追加しました。	第2回 施策審議会
10	32	第2部各論 2 保健・医療・福祉の充実 (4) 難病に関する保健・医療施策の推進	【施策の方向性】 「新潟市難病相談支援センター」となっているが、正式名称は「新潟県・新潟市難病相談支援センター」ではないか。	【施策の方向性】 「新潟県・新潟市難病相談支援センター」に修正しました。	第2回 施策審議会
11	34	第2部各論 3 療育・教育の充実 (2) 学校教育の充実	【施策の方向性】 障がいの個人(医学)モデルが徹底しており、障がいを障がい児と言われる子どもの問題として捉えているように思えます。共生社会、インクルーシブ教育を標榜するのであれば、障がい児を特別支援学校(学級)に別学とするシステムそのもの(同級生に障がいをもつ子どもがいないことなど)の再検討や、一般の児童生徒の障がい理解をどう進めていくかといった課題が重要と考えられますが、それらについて計画では欠落しているかと思えますので、障害者権利条約の教育に関する条項を参考にしてほしいと思います。 障がい児アンケートでも、「周囲の理解」が最も強い要望となっていることをふまえて、未来の新潟市をどのように創造するかにおいて、教育の果たす役割と影響は決定的ともいえます。 【参考】障害者権利条約(抜粋)第8条「意識の向上」、第24条「教育」	【施策の方向性】 特別支援学級では、障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒と一緒に活動する「交流及び共同学習」が行われています。また、特別支援学校では、特別支援学校の児童生徒が自分の住んでいる地域の小中学校の学校行事に参加する等「居住地校交流」が行われています。障がいのない子の障がい理解については、福祉教育の推進の項目で掲載し、引き続き理解の促進に取り組みます。  <福祉教育の推進の項目> 42ページ「6 障がいを理由とした差別の解消及び権利擁護の推進(4)福祉教育の推進」	第2回 施策審議会
12	36	第2部各論 4 雇用促進と就労支援 (1) 雇用促進と一般就労の支援	【現状と課題】 「患者」とは、この場合どういう意味でしょうか。	【現状と課題】 「患者」を「難病患者」に修正しました。	第2回 施策審議会
13	37	第2部各論 4 雇用促進と就労支援 (2) 福祉施設等への就労の支援	【施策の方向性】 コロナの影響で仕事がなく賃金下がっているため、就労継続支援B型のバックアップ等について施策の方向性に加筆してはどうか。	【施策の方向性】 コロナの影響による福祉施設就労等の支援策は、令和2年度の事業として周知を行いました。まちなかほっとショップについて、さらに実効性のあるものとして取り組みの充実に努めます。	第2回 施策審議会
14	40	第2部各論 6 障がいを理由とした差別の解消及び権利擁護の推進 (1) 障がいを理由とした差別の解消の推進	【施策の方向性】 「差別解消の未然防止策」とありますが、差別解消を未然防止し、差別を温存することになってしまう表現になっているのではないかと。また、2行目の「...深めるための交流機会の提供等に関する取り組みを進めるとともに、条例推進会議の開催、事後対応策として相談・紛争解決に取組みます。」といった表現も改善の必要があるかと思えます。	【施策の方向性】 「差別解消の未然防止策」を「差別の未然防止策」に修正するとともに、全体的に表現を修正しました。	第2回 施策審議会

No	該当ページ	該当箇所	意見内容	意見に対する回答	会議
15	41	第2部各論 6 障がい者を理由とした差別の解消及び権利擁護の推進 (3) 障がいと障がいのある人に対する理解の普及	【現状と課題・施策の方向性】 将来的に経済的支援には限界があるため、今後は障がい者に対する社会全体の理解を深めることが必要ではないかと思うので、その点について加筆してはどうか。	【現状と課題・施策の方向性】 障がいや障がい者に対する社会全体の理解を深めていくことの必要性や取り組みについて追加しました。	第2回 社会福祉審議会 分科会
16	41	第2部各論 6 障がい者を理由とした差別の解消及び権利擁護の推進 (3) 障がいと障がいのある人に対する理解の普及	【施策の方向性】 市役所職員や市民を対象に、「障がい平等研修」などを実施してはどうでしょうか。（提案）	【施策の方向性】 現在、市役所職員や市民への研修は、「共生条例」の周知啓発を市職員が講師となり行っていますが、今後の研修内容については「障がい平等研修」を含めて検討していきます。	第2回 施策審議会
<b>第6期新潟市障がい福祉計画・第2期新潟市障がい児福祉計画</b>					
17	17	4 令和5年度の成果目標 (1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行 ②施設入所者の削減	【目標値】 「施設入所者の削減」自体を目標とせず、「入所待機者の解消」、すなわち入所者の増加を目指すという意味でしょうか。	【目標値】 施設入所を希望している入所待機者が多くいることから、入所者数の削減目標は設定しません。一方で、現入所者の地域生活への移行を推進します。	第2回 施策審議会
18	18	4 令和5年度の成果目標 (2) 福祉施設から一般就労への移行等 ①福祉施設から一般就労への移行	【目標値】 考え方について、「本市の実情を考慮すると達成困難と考えられるため」という表現が以降の項目でも見られますが、「本市の実情」がどういうもので、「達成困難と考えられる」理由が何であるかを示す必要があります。この分析抜きに、有効な対策を立てることはできないだろうと思います。このままでは、単なる現状追認になってしまうおそれがあります。	【目標値】 本市の障がいのある方の一般就労者数は概ね増加傾向にあるものの、就労を希望する障がい者と受け入れ企業を取り巻く雇用状況には様々な影響が考えられ、特に令和2年度以降については、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、厳しい状況が続くと考えられます。一方で、障がい者雇用を促進する必要があることから、法定雇用率の見直しを踏まえた目標値を設定しました。	第2回 施策審議会
19	19	4 令和5年度の成果目標 (2) 福祉施設から一般就労への移行等 ⑤一般就労移行者の就労定着支援利用率	【目標値】 成果目標の目標値「70%」の妥当性が測れない。 <理由> 「令和5年度における就労移行支援事業等を通じた一般就労移行者のうち、就労定着支援事業を利用した者の割合。」とあるが、就職者を出した事業所が必ずしも定着支援を実施しているとは限らないため、母数にできないと考えるため。	【目標値】 目標値の70%については、就労定着支援の全体の実績が市としては少ないため、国の設定する目標値を設定しました。 就労定着支援事業は、必ずしも、利用者が一般就労時に通所していた移行支援事業所等でなければ利用できないサービスではありませんが、希望者がサービスを円滑に受けることができるよう、事業所に対して事業開始を促す取り組みを継続してまいります。	第2回 施策審議会
<b>施策審議会</b>					
20			入所施設の設置を検討のひとつに加えながら、入所待機者解消の検討をお願いしたい。（障がい児含む）	障害者支援施設については、定員増に関する協議を県と開始しました。障がい児入所施設についても、現在、県のニーズ調査が実施されているので、実態をよく確認していきます。	第1回 施策審議会
21			特別支援学校卒業生のうち、重度知的障がいと行動障がいを伴う利用者の中受入先の事業所が不足しつつあるように感じています。生活介護事業所の重度者の新規受け入れ状況、新規受け入れが困難な理由について情報があればご教授ください。	生活介護事業所は、高等部3年時の卒業後受入れ調整の状況に合わせて、新年度に向けた定員増をおこなっています。しかし、支援に特段の配慮が必要な利用者については、支援技術の不足や個別対応を行なうスペースの確保が困難なこと等により受入れ先が限られている状況があります。	第1回 施策審議会

No	該当ページ	該当箇所	意見内容	意見に対する回答	会議
22			「新潟市訓練・就労系事業所等通所交通費助成事業」について、制度変更後の利用方法についてご検討いただきたい。	3つの制度を統一した通所交通費助成事業は、今後もわかりやすい制度に向けて、各区の処理体制を確認しながら、必要な見直しを検討していきます。	第1回 施策審議会
23			コロナ禍での多様な働き方と学習について、今後の施策の中で検討していただきたい。	<p>&lt;働き方&gt; こあサポートでは企業、障がい者、支援者へテレワーク（在宅勤務）の理解促進と雇用を進める活動を始めており、事業所における在宅支援とも連携していきます。</p> <p>&lt;学習&gt; 「公的機関や民間施設において相談・指導を受けている場合の指導要録上の出席と判断できる要件」を通知しており、その要件を満たす場合は出席と判断しています。</p>	第1回 施策審議会
24			会場は費用のかかる白山会館のため、費用がかからない市役所の会議室で開催できないのでしょうか。	会議の日時が決まり次第、市役所の会議室で開催できないか検討していますが、他の所属が先に会場を予約しているため、白山会館を会場としています。	第1回 施策審議会
25			ヘルプマークの運用状況はどうなっていますか。また、推進等をおこなっていますか。	ヘルプマークは、昨年度930枚、今年度9月末まで261枚、合計1,191枚を配付しました。 引き続きヘルプマークの実効性を高めるために、ホームページや啓発チラシなどで広く案内をし周知啓発に努めていきます。	第2回 施策審議会